

あいち森と緑づくり事業評価報告

《案》

平成 2 5 年 3 月

愛 知 県

はじめに

- あいち森と緑づくり事業は、平成 2 1 年度から 1 0 年計画で実施しているが、あいち森と緑づくり税の課税期間が終了する平成 2 5 年度に、森と緑を取り巻く状況の変化や事業の進捗状況などを総合的に勘案して、税及び事業の継続を検討することとしている。
- その検討に必要な材料とするため、これまでの事業の実績、効果の整理や、県民、関係者の意向調査などによる「事業評価」を今年度実施し、その結果を取りまとめた。

目 次

第1	あいち森と緑づくり事業の概要	2
第2	あいち森と緑づくり税と基金の状況	3
第3	事業の実施状況	4
1	人工林整備事業	5
2	里山林整備事業	8
3	都市緑化推進事業	11
4	環境活動・学習推進事業	16
5	森林整備技術者養成事業	18
6	木の香る学校づくり推進事業	20
第4	県民等の意識	22
1	アンケート調査	22
(1)	一般県民アンケート	22
(2)	事業関係者アンケート	24
(3)	その他アンケート	29
2	事業に対する意見、要望等	31
(1)	市町村等の意見、要望	31
(2)	あいち森と緑づくり委員会における意見、提案	32
第5	事業の課題と今後の方向性	34
1	取組の成果と県民意識等	34
2	事業別の課題と今後の方向性	34
(1)	人工林整備事業	34
(2)	里山林整備事業	34
(3)	都市緑化推進事業	35
(4)	環境活動・学習推進事業	35
(5)	木の香る学校づくり推進事業	35
3	その他の取組	36
(1)	新たな視点等	36
(2)	事業の進め方	36
4	今後に向けて	36

第1 あいち森と緑づくり事業の概要

- あいち森と緑づくり事業は、森や緑の持つ様々な公益的機能の発揮を図るために平成21年度に創設された「あいち森と緑づくり税」を財源に、県内の森林や里山林、都市の緑をバランスよく整備、保全していくための事業として、平成21年度から10年計画で実施している事業である。
- 税収については、すべて「あいち森と緑づくり基金」（以下、基金）に積み立ててから、あいち森と緑づくり事業の支出に充当することで、使途の明確化を図っている。
- 事業の計画、進捗、実績の評価等に対する意見を聴取し事業の効果的な推進を図るため、有識者や活動団体の代表、公募委員で構成される「あいち森と緑づくり委員会」を設置し、事業計画や進捗等に対する意見をいただきながら事業を進めている。

【背景】

- 森と緑は、環境保全や災害防止等の様々な働きを通じて、私たちの安心、安全で快適な暮らしを支えている
- 森林・里山林の手入れ不足や都市の緑の減少により、その働きが衰えてしまうことが心配されている

既存の森と緑づくり施策の推進
(林業振興事業、都市公園整備事業等)

+

森と緑づくりのための新たな施策
(あいち森と緑づくり事業)

【理念】

森と緑の公益的機能の発揮
森と緑を県民共有の財産として皆で支える

バランスよく整備、保全

都市の緑

森林

里山林

山から街まで緑豊かな愛知の実現

【施策の考え方】

森林（人工林）の再生

- 林業活動では整備が困難な森林の間伐
・ 林道から遠い奥地、交通量が多く作業性が悪い公道沿い等

里山林の保全・活用

- 放置された里山林の保全・活用
・ 地域の方々や活動団体等との協働によるモデル的な整備
・ 放置された里山林を再生するための整備

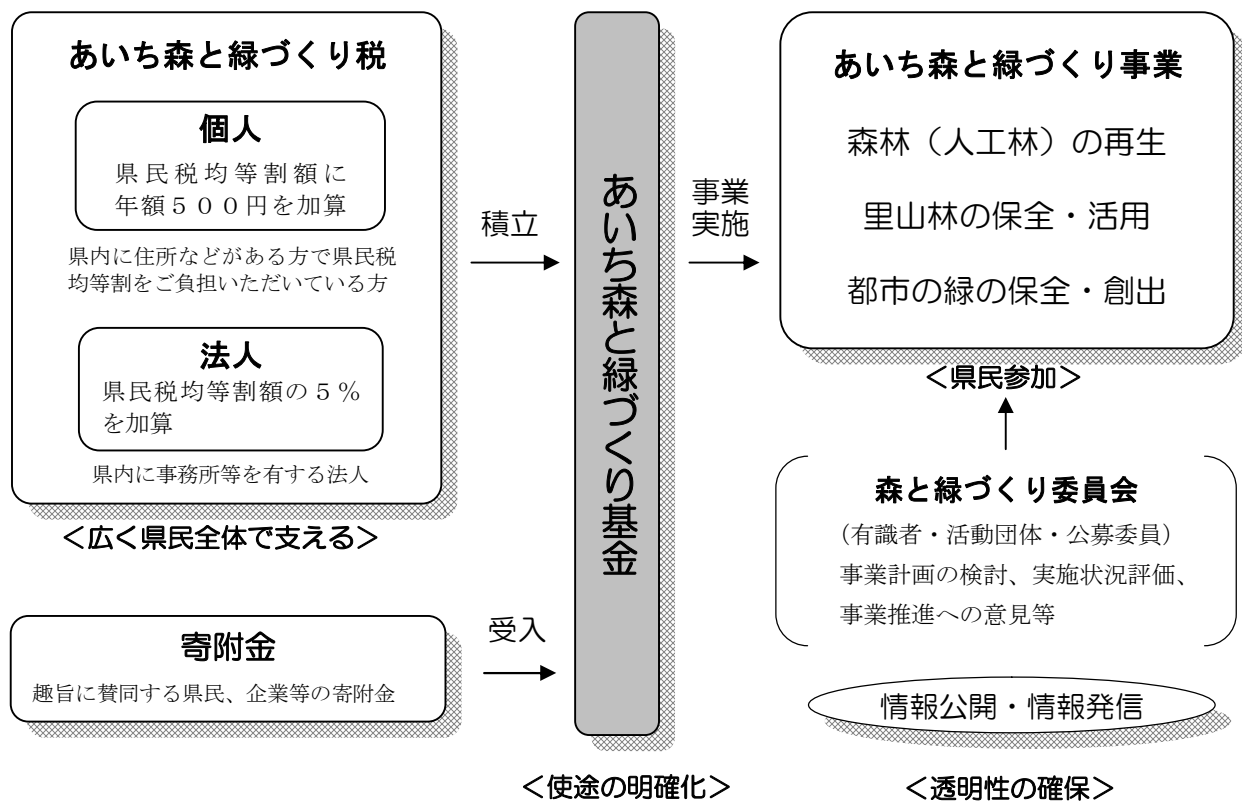
都市の緑の保全・創出

- 都市の緑の保全・創出
・ 民有樹林地を緑地として保全、緑の少ない市街地での緑化等

環境保全・
環境学習活動

公立小中学校
への県産材利
用の机や椅子
の導入 等

【あいち森と緑づくり事業のしくみ】



第2 あいち森と緑づくり税と基金の状況

1 税の内容

- 県民税均等割の超過課税で、納税義務者は県民税の納税義務者と同じ。
- 税率は、個人は年額500円を加算し、法人は年5%を加算（資本金等の額に応じて1,000円から40,000円）。

2 基金の状況

- 税収を積み立てている基金には、税収のほかに、個人や企業からの寄付金や運用益も積み立てられている。
- 基金への積立金は、あいち森と緑づくり事業の事業費に限定して充当しており、毎年度の取崩額がその年度の事業費となっている。

(千円)

区 分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (見込)
積立額	700	1,514,117	2,180,099	2,199,110	2,190,611
うち税収	—	1,513,525	2,171,253	2,183,000	2,182,000
うち寄付金	700	591	5,139	12,233	0
うち運用益	—	2	3,708	3,877	8,611
取崩額	—	858,185	1,524,745	1,871,197	2,649,800
年度末基金残高	700	656,633	1,311,987	1,639,900	1,180,711

第3 事業の実施状況

- あいち森と緑づくり事業は、平成20年度に策定した「あいち森と緑づくり事業計画」に基づき実施している。
- 手入れの行き届かない人工林の間伐、放置された里山林の整備・保全及び都市部における貴重な緑地の保全・創出に加え、県民参加による森や緑の保全活動や環境学習などを推進している。
- 平成21年度から30年度までの10年間の計画で、総額220億円の事業費を見込んでいる。

【あいち森と緑づくり事業計画の概要】

総事業費 220億円（10年間）

分野 (事業費)	事業名	事業概要
森林整備 (110億円)	人工林整備事業	奥地、公道・河川沿い等の森林の間伐
	森林整備技術者養成事業	技術者養成のための技能講習、実地研修等
里山林整備 (30億円)	里山林再生整備事業	里山林再生のための除間伐と簡易土留柵等
	身近な里山林整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民、団体等による保全活用を前提としたモデル的整備、市町村有林化 ・ 放置された里山林の整備
都市緑化 (60億円)	都市緑化推進事業	市街化区域等の私有樹林地の市町村有地化及び緑地整備
		私有地の敷地及び屋上、壁面等の緑化
		公共施設の沿道等の街路樹の植替え等
		県民参加の都市緑化活動
環境学習の 推進等 (20億円)	環境活動・学習推進事業	多様な主体による環境保全活動・環境学習活動
	木の香る学校づくり推進事業	公立小中学校の学習机・椅子に愛知県産木材製品を導入

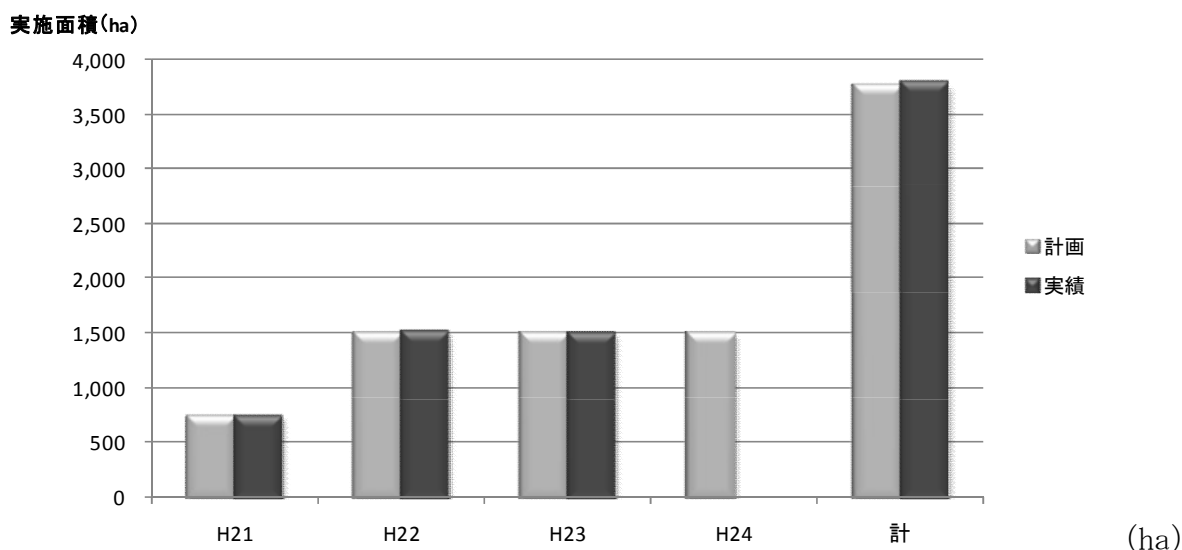
1 人工林整備事業

林業活動では整備が困難な奥地や作業が困難な公道・河川沿い等の人工林について、公益的機能を十分に発揮する森林へ誘導するために県が間伐等を実施する。

(1) 実績

- 平成23年度までの計画3,750haに対し、3,786haの間伐を実施。全体計画15,000haに対する進捗率は、計画の25%となっている。
- 公道沿いの間伐は計画を上回るペースで進んでいるが、奥地の間伐は進捗率が低くなっている。

【年度別実績及び進捗率】



区分	H21	H22	H23	H24	計 (H21~H23)	全体計画 <進捗率>
計画	750	1,500	1,500	[1,500]	3,750	15,000
実績	753	1,522	1,511		3,786	<25.2%>

※H24 実績は見込み

【対象地別間伐面積及び進捗率】

区分	全体計画	H21	H22	H23	H24	実績計	進捗率
奥地	10,000ha	342	645	557		1,544	15.4%
公道・河川沿い	5,000ha	411	877	954		2,242	44.8%